

# 令和5年度 取組事例のご紹介

---

第5回 安倍川水系流域治水協議会  
令和6年3月13日

# 安倍川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～

● 安倍川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】静岡市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、堤防整備、本川の侵食対策、流域貯留浸透施設の検討等を実施する。あわせて、被害軽減のため、二線堤の維持、立地適正化計画の検討等を行うことともに、マイタイムライン、住民の意識向上に向けた水防災教育教材の作成を実施する。

【中期】河道掘削と合わせ、静岡市街地における侵食破堤のリスク軽減を図るため、安倍川本川下流部及び藁科川の侵食対策を実施。あわせて、被害軽減のため、二線堤の維持、安全なまちづくり（立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等）、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育を実施する。

【中長期】洪水を安全に流下させる断面の確保を図るため、河道掘削、藁科川における侵食対策の推進を図ると共に、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、被害軽減のための取り組みをあらゆる関係者と一体となって推進する。

## 【事業費】

■ 河川対策	全体事業費	約 7.8 億円 ※1
対策内容	堤防整備、河道整備 侵食対策 等	
■ 砂防対策	全体事業費	約 1.73 億円 ※2
対策内容	砂防施設の整備、森林保全 等	
■ 下水道対策	全体事業費	約 0.5 億円 ※3
対策内容	下水道施設の耐水化 等	

※1：直轄及び各水系の河川整備計画の残事業費を記載  
 ※2：直轄砂防事業の残事業費を記載  
 ※3：流域治水における下水道事業計画の残事業費を記載

## 【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (R2～R7)	中期 (R8～R12)	中長期 (R13～R19)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	直轄区間における市街地等を守る河道掘削、堤防整備、侵食対策	静岡河川事務所	堤防整備 河道掘削 本川の侵食対策	堤防整備 河道掘削完了 藁科川の侵食対策	堤防整備完了 藁科川の侵食対策
	指定区間における市街地等を守る護岸整備 等	静岡県		護岸整備完了	
	砂防施設等の整備	静岡河川事務所 静岡県			砂防施設等の整備
	下水道施設の耐水化の取り組み	静岡市		施設配置等の計画策定	
	流域貯留浸透施設の検討	静岡市			流域貯留施設の検討
	森林の整備・保全	林野庁、 静岡県、森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	二線堤の維持	静岡河川事務所			
	静岡市立地適正化計画への反映	静岡市		立地適正化計画に基づく防災指針の作成	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	マイタイムラインの活用	静岡河川事務所 静岡県、静岡市		マイタイムラインの作成	マイタイムラインの実行・更新
	水防災教育教材等を活用した、小・中・高等学校等への水防災授業の実施	静岡河川事務所 静岡県、静岡市		水防災教育教材の作成	水防災教育の実施
	発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法の改善	静岡河川事務所 静岡地方気象台			
グリーンインフラの取組	砂礫河原の保全・創出	静岡河川事務所		砂礫河原(鳥類営巣地)の保全・創出	砂礫河原(鳥類営巣地)の保全
	ワンドの保全・創出	静岡河川事務所			ワンド(環境学習・魚類産卵場)の保全・創出
	水際環境の保全・創出	静岡河川事務所			貴重な種の保全
	景勝地等の景観の保全	静岡河川事務所			景勝地等の景観の保全(木枯らしの森、舟山)
	河川の連続性の回復	静岡県		河床低下対策による河川の連続性の回復	



点線：策定、検討  
 実線：施工、運用

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

## <氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策>

### ■雨水貯留浸透施設の検討

- ・市立賤機南小学校の校庭において、雨水貯留施設（表面貯留形式）の設計を実施
- ・今後、整備費用の予算化を図り、雨水貯留浸透施設の整備を推進していく

### ■既設雨水貯留管の効果的な運用

- ・下川原雨水貯留管について、雨水の流入開始直後から状況に応じて放流を行う運用に変更

## <被害の軽減、早期復旧・復興のための対策>

### ■水害リスク空白域の解消（中小河川における洪水浸水想定区域図の作成）

- ・安倍川水系の（一）大門川、（一）小豆川、（一）秋山川の洪水浸水想定区域図を作成
- ・今後、洪水浸水想定区域図をホームページに公表し、中小河川の水害リスク周知に取り組む

### ■浸水センサ設置による浸水情報の収集・周知

- ・浸水センサの設置位置の検討を進めており、今後センサの設置、浸水情報の収集・周知を実施

## <流域治水 × グリーンインフラの取組>

### ■小中学校などにおける河川環境学習（うしづま水辺の楽校）

- ・夏休み期間中、地域のボランティア団体「水辺の楽校世話人会」の運営で開催
- ・安倍川の自然や川の危険性などを子どもたちに伝える、河川環境学習の場として活用

7月17日～8月27日のうち、27日間開校

⇒ 開校期間中の利用者数 約12,900人

市立賤機中小学校の校外学習にも使用

河川管理者・市・地域が連携し、更なる水辺利用を推進するため、新たに「水辺利用調整協議会」を組織し今後の取り組みを検討

⇒ 令和5年度中に「都市・地域再生等利用区域」に指定し、地元団体によるイベント等を実施していく予定



開校式(7月17日)の様子



高水敷内に整備したワンド部の様子

静岡土木事務所では、安倍川流域治水プロジェクトに位置付けられた、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、安倍川指定区間における、市街地等を守る護岸整備など、国土強靱化5か年加速化対策により実施している。令和5年度は、護岸整備および河道掘削を実施した。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ○護岸整備等 (設計) N = 3箇所



### ○河道掘削 V=10,500m<sup>3</sup>

- ・安倍川 (指定区間)
- ・丸子川
- ・新聞谷川
- ・内牧川



丸子川



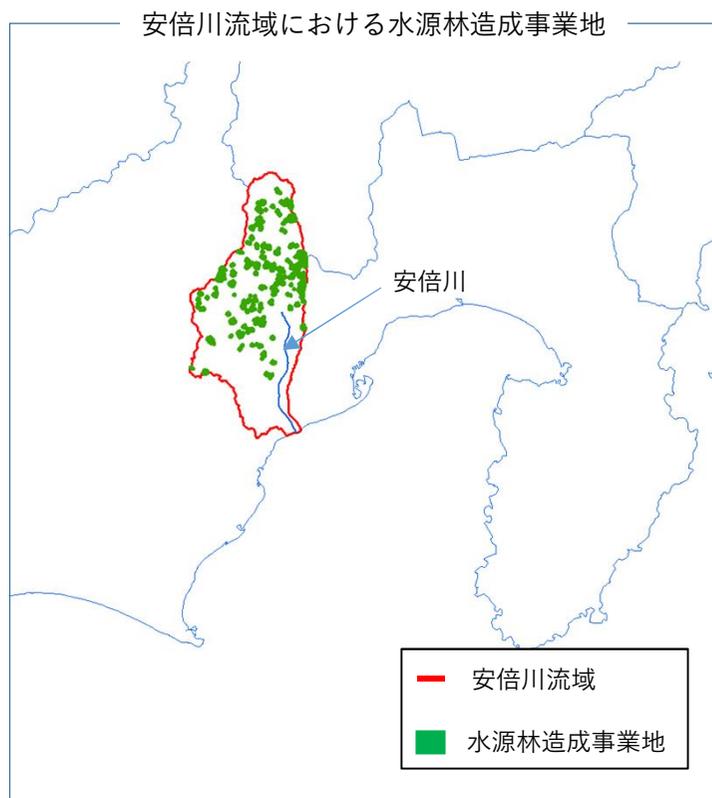
安倍川

# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

③森林整備センター

## ■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 安倍川流域における水源林造成事業地は、約190箇所（造林地面積 約1,600ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。 ➡ 令和5年度実績 除間伐 5 1 ha実施





- 防災気象情報が市町の避難情報の発令や住民の避難行動の判断に活かされるよう支援を行っている。
- 「顕著な大雨に関する気象情報」を最大30分程度前倒して発表する運用に変更した。今後も、対象地域の絞り込みや発表時間の前倒しなど予測精度の向上に努める。

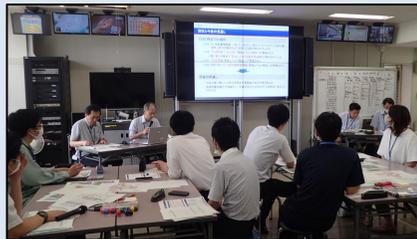
## ＜関係機関との連携強化の取組み＞

### 平時

✓気象台長の市町の首長との「顔の見える関係」を構築・深化



✓防災気象情報の利活用のための実践的な研修等の実施

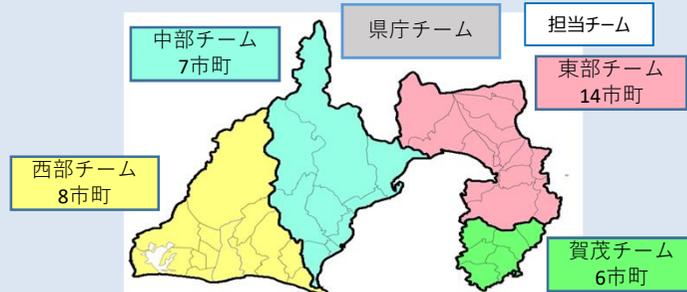


気象防災ワークショップ（自治体職員対象）



気象庁大雨ワークショップ(学校対象)

✓「あなたの町の予報官」を編成して支援・連携



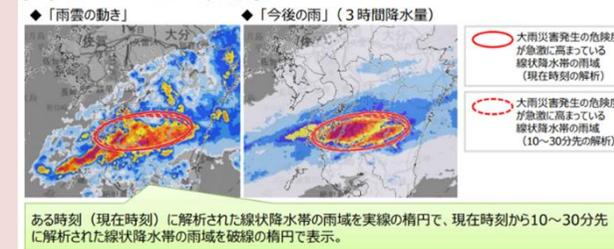
✓「気象防災データベース」を利用し、気象特性・災害リスク等を共有  
新たに災害が発生した場合などに適宜追記・修正し更新させる

※市町毎のデータベースのイメージ  
地域防災計画、ハザードマップ、地域特性、災害履歴と災害時の気象状況及び地震・火山活動の状況 等

### 緊急時

✓防災気象情報の適時的確な発表

【気象庁ホームページにおける表示例】



「顕著な大雨に関する気象情報」を最大30分程度前倒して発表

✓ホットライン等により予報官の危機感を確実に伝達

✓災害対応支援のため「気象庁防災対応支援チーム（JETT）」を派遣

JETT派遣  
今後の天候や警報・注意報の見通しを解説・助言



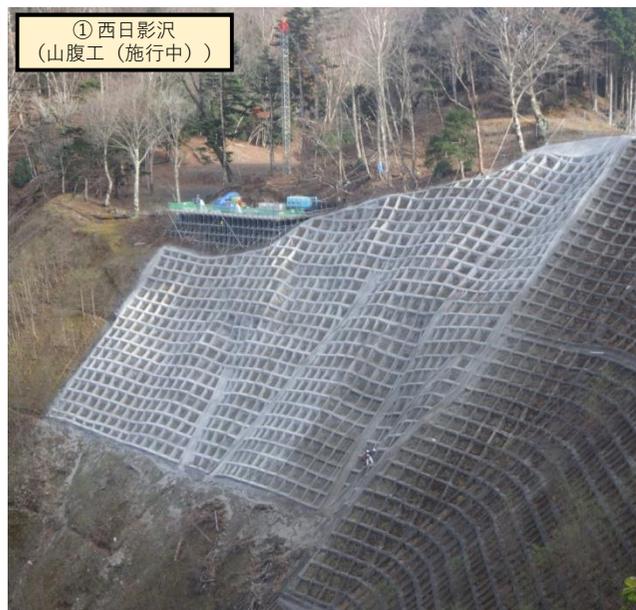
対策メニュー	短期	中・長期
<b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b> ●被害軽減対策 ・気象に関する予報精度の向上 ・自治体が作成するタイムラインの見直し等への助言 ・関係機関との連携強化 （あなたの町の予報官） ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解・促進の取り組み （住民への防災気象情報（キキクル等）の利活用を促進）		

## 静岡森林管理署における国有林野内直轄治山事業の取り組み

- 安倍川最上流部の梅ヶ島国有林内において、多くの崩壊地が存在していることから、山腹崩壊地の復旧及び崩壊地から生産された土砂の流出防止を図るため、計画的に治山事業の取り組みを進めている。
- 令和5年度は荒廃溪流に治山ダム工1基と崩壊地の復旧として、山腹工1箇所を実施している。  
 【治山ダム工：L=38m H=14m V=1,960m<sup>3</sup>】 【山腹工：0.19ha 主な工種 簡易法枠工】  
 令和6年度については、引き続き山腹工2箇所を予定している。



② サカサ川支流  
(治山ダム工 (施行中))



① 西日影沢  
(山腹工 (施行中))



② サカサ川支流  
(治山ダム工 (着手前))

## □ 安倍川・安倍川砂防 令和5年度整備箇所

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 河川関係

○直轄管理区間 安倍川(22.7km)、藁科川(8.9km)において、洪水氾濫から地域の安全・安心を確保するため、河川改修・維持管理を実施しています。

### R5末時点の実施内容

- 大原地区において、R4年度台風15号で被災した護岸を復旧します。
- 洪水安全に流下させるために、下川原地区、手越地区などで河道掘削の実施
- 牧ヶ谷地区において、旧樋管を撤去します。
- 飯間地区、牛妻地区において、護岸の修繕を実施します。
- 福田ヶ谷地区において、低水護岸整備を実施します。

表 堤防の整備状況(令和5年度末時点)

	堤防必要区間 延長(km)	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
策定時	52.1	32.3	60.0	14.1	26.0
現況		41.0	78.7	11.1	21.3

山腹工  
大谷崩  
N=2,420m<sup>2</sup>

堰堤整備  
(堰堤本体)  
有東木地区  
V=1,170m<sup>3</sup>

堰堤補強  
(アンカー工)  
梅ヶ島地区  
N=25本



### 砂防関係

○玉機橋(約23kp地点)より上流の流域において、大谷崩等からの土砂災害を防止するため、砂防堰堤の施設整備・改築を実施します。

### R5末時点の実施内容

- 大谷崩にて土砂流出対策のため山腹工を実施
- 有東木地区にて新規堰堤の整備を実施
- 既設堰堤(3基)にて土砂掘削及び健全度対策のため堰堤補強(アンカー工)を実施



静岡市

護岸修繕  
牧ヶ谷地区  
L=100m(予定)

樋管撤去  
牧ヶ谷地区  
N=2か所

災害復旧  
大原地区  
L=162m

凡例

- 浸水想定範囲(戦後最大の昭和54年10月台風に対する想定氾濫解析)
- ⇄ 大臣管理区間
- 流域界
- 安倍川砂防直轄事業区域

低水護岸(~R5)  
福田ヶ谷地区  
L=340m(予定)

河道掘削  
手越地区  
V=10,000m<sup>3</sup>

河道掘削  
下川原地区  
V=24,400m<sup>3</sup>

護岸修繕  
飯間地区  
L=180m

### 令和6年度以降の取組

国直轄の全区間においてS54.10月洪水(戦後最大規模)を安全に流下できるよう、堤防整備・河道掘削・維持修繕を引き続き実施します。



## □ 水防災教育授業の実施

### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 静岡県立駿河高等学校の2年生を対象に、静岡大学と静岡河川事務所が連携して作成した「高校生向け水防災教育テキスト（R5.10版）」を元に10月から11月にかけて4コマ1単元での水防災授業が行われました。授業では安倍川沿川の水災害リスクと社会条件の情報をもとに、水災害リスクに対してどんな対策が必要かグループで話し合い「各地域を住みやすくするために自分達ができること」を考えました。
- 水防災教育を通じて、子供たちの水防災意識の形成と主体的に避難行動をとれる人間を育成し、地域全体で水防災意識をもつことを目指します。



授業の様子

テキストは駿河総合高校の先生や静岡大学の教授・学生の意見を取り入れて作成されています。



### 令和6年度以降の取組

- 静岡大学や要望のあった学校側と調整し、水防災教育学生サポーター制度※を活用した授業の普及により、地域の水防災意識の向上を図ります。

※水防災教育学生サポーター制度：水防災教育授業に、教員補助や生徒への助言等のサポーターとして、学生を派遣することにより、水防災教育の導入にあたっての教員負担を軽減し、普及・拡充を促進することを目的とし、令和3年9月に創設。

## □ 二線堤の維持管理

### 被害対象を減少させるための対策

- 二線堤は、氾濫流の下流域への拡散を防止し被害を軽減させる機能を有しているため、巡視などを通じ適切な維持管理に努めている。
- 二線堤に設置された13箇所の陸閘については、緊急時に備え確実に閉鎖できるよう、年1回静岡市と協働して操作訓練を行っている。



巡視の様子(安西堤)

9月に道路の通行止めを行い、門屋地区3箇所及び牧ヶ谷地区2箇所の陸閘操作訓練を実施



操作訓練の様子



操作訓練の様子(門屋陸閘)

### 令和6年度以降の取組

引き続き、二線堤の機能を維持できるよう点検・訓練を実施して参ります。

## □ 安倍川大規模土砂災害合同防災訓練を実施

### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 地震により安倍川上流域で大規模土砂災害が発生した場合を想定し、それぞれの関係機関の円滑な連携や局面に応じた判断力の向上を目指し、被害の軽減を図ることを目的に訓練を実施しました。

訓練参加機関：静岡市、静岡県、国土交通省



訓練の様子

### 被害想定

- 静岡市葵区にて震度6弱の地震を観測、深層崩壊の発生に伴い河道閉塞（天然ダム）が発生するとともに各所で地すべりやがけ崩れ等、同時多発的な土砂災害が発生。

### 訓練内容

- 3つのステージに分け進行役が災害シナリオに基づいて状況付与を行った上で質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型
- ステージ1:災害発生箇所の初動対応
- ステージ2:土砂災害防止法に基づく緊急調査の着手及び通知後の対応
- ステージ3:土砂災害緊急情報の通知及び通知後の対応

### 令和6年度以降の取組

安倍川流域内で大規模土砂災害が発生した場合に備え、関係機関が円滑に連携した対応ができるよう、引き続き、合同防災訓練や勉強会を実施する。

## □ 安倍川ってどんな川？出前講座を実施

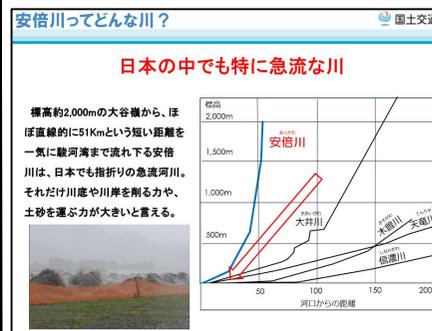
### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 流域の小学校に出向き、「安倍川の概要・歴史と治水対策」について出前講座を実施。

12月に長田北小学校にて出前講座を実施



出前講座の様子



### 令和6年度以降の取組

引き続き、出前講座を通じて安倍川について知ってもらい、治水について日頃から考えてもらえるよう努める。